



鉄道写真詩コンテスト

写真と詩で伝える鉄道の魅力



応募期間 平成29年7月1日▶9月30日(必着)

あなたの撮った鉄道の写真に <http://ecotran.or.jp/>
あなたの詩を添えてWebからご応募ください



- ①写真の撮影及び詩作は同一人であって、未発表のものに限ります。
- ②応募点数は一人3点までとします。
- ③写真は、鉄道を題材としたものであって単写真に限ります(組写真は不可)。
銀塩写真、デジタル写真の別、カラー、モノクロの別は問いません。画像ファイルは、JPEG形式とし、ファイルサイズは5MB以内(大きい画像は5MB以内に圧縮)とします。
- ④詩は、自由詩、散文詩のいずれも可。一行詩から、20行以内の詩であって、20字×20行=400字以内とします。

審査委員

◇ 米屋こうじ Yoneya Koji



鉄道写真家
生活感ある鉄道風景のなかに人と鉄道の結びつきを求めて、日本と世界の鉄道を撮影する

◇ 国土交通省鉄道局長

◇ 水無田気流 Minashita Kiriu



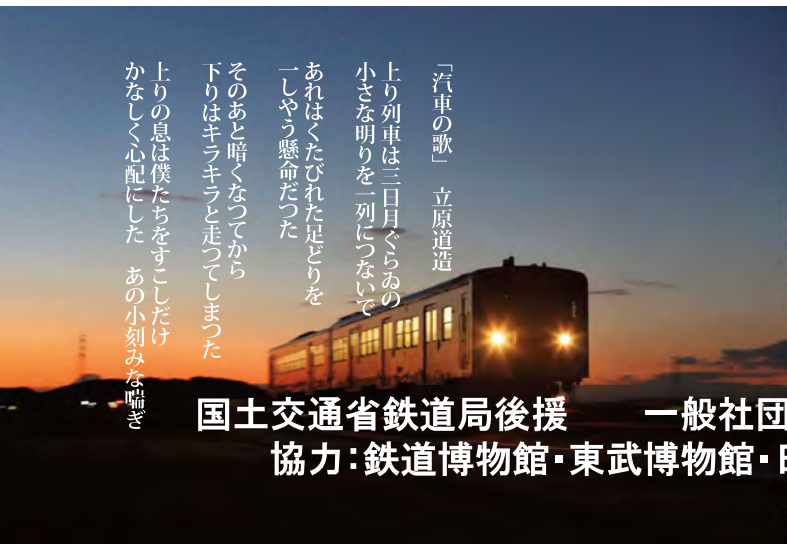
詩人・社会学者
2006年に詩集「音速平和」で中原中也賞
詩集「Z境」で晩翠賞
國學院大學経済学部教授

◇ 一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事

応募はこちらから



<http://ecotran.or.jp/>



「汽車の歌」 立原道造
上り列車は三日月ぐらあの
小さな明りを一列につないで
あれはくたびれた足とりを
一しやう懸命だつた
そのあと暗くなつてから
下りはキラキラと走つてしまつた
上りの息は僕たちをすこしだけ
かなしく心配にした あの小刻みな喘ぎ

国土交通省鉄道局後援



「晩夏」 木下夕爾
停車場のプラットホオムは
南瓜の蔓が薊いのぼる
閉ざれた花の扉のすきまから
てんと虫が外を見ている
軽便車が来た
誰も乗らない
誰も下らない
柵のそばの黍の葉つばに
若い切符きりがちよつと鉄を入れる

一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催

協力:鉄道博物館・東武博物館・日本旅行・旅の手帖・交通新聞社